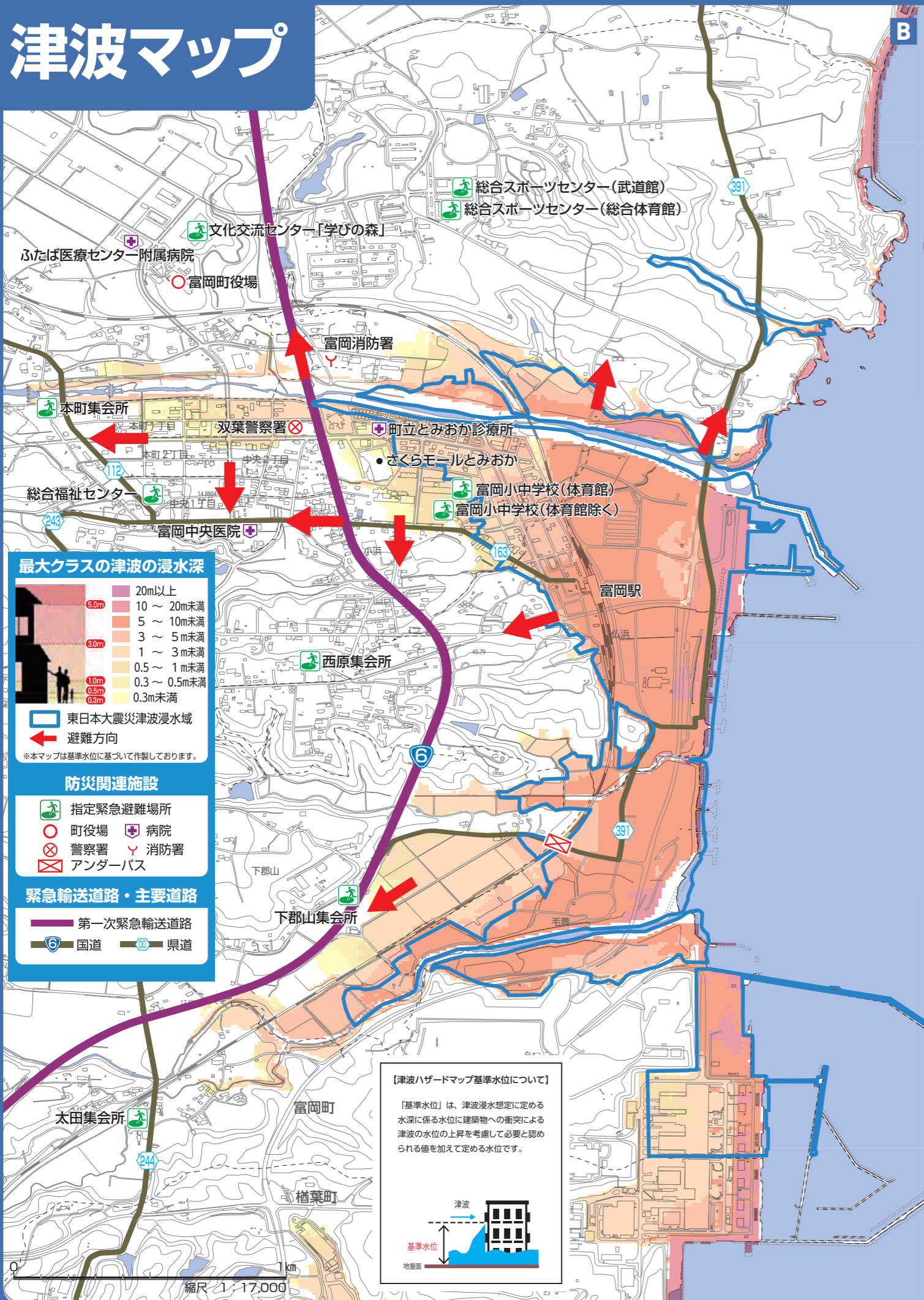


津波マップ



最大クラスの津波の浸水深

20m以上
10 ~ 20m未満
5 ~ 10m未満
3 ~ 5m未満
1 ~ 3m未満
0.5 ~ 1m未満
0.3 ~ 0.5m未満
0.3m未満

東日本大震災津波浸水域
避難方向

※本マップは基準水位に基づいて作製しております。

防災関連施設

- 指定緊急避難場所
- 町役場
- 警察署
- アンダーパス
- 病院
- 消防署

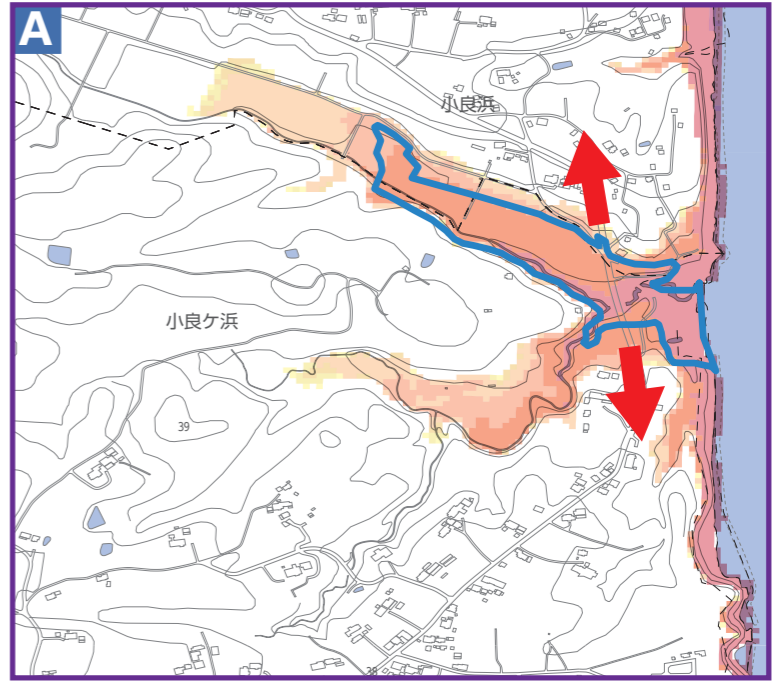
緊急輸送道路・主要道路

- 第一次緊急輸送道路
- 国道
- 県道

【津波ハザードマップ基準水位について】

「基準水位」は、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位です。

最大クラス津波による津波浸水想定



地域海岸名 …… 富岡海岸
 第一波到達時間 …… 38分
 最大遡上高 …… T.P.+19.9m
 (T.P.=東京湾平均海面)

この津波マップについて

- この津波マップは、福島県が、現状の堤防高、潮位が満潮などの条件下で最大クラスの津波が起きた場合の「最大の浸水区域」と「水深」を設定したものです。
- 富岡町では、第一波が38分後に到達し、東日本大震災の浸水範囲を越えて浸水する可能性が示されました。
- 注1)最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 注2)浸水域や浸水深等は、地面の凹凸や構造物の影響等により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなる場合があります。
- 注3)震災後、多重の防護対策が進められていますが、堤防等は倒壊するなど、最悪の場合を想定し作成しています。

東日本大震災後の津波対策について

- 毛萱仏浜地区海岸**
富岡漁港以南の海岸堤防の高上げの改修が行われています(令和3年3月末完了)。海岸堤防の高さは、海抜+8.7m(現状より2.5m 高い)となります。
- 富岡川**
河川堤防の高上げなどの改修が行われています(津波影響区間L=380m)(令和3年3月末完了)。
- 海岸防災林**
潮害、飛砂などの災害防止に加え、津波エネルギーの減衰効果などの被害軽減を目的として、海岸線延長1,650m、面積約24haの海岸防災林の整備が行われています(令和3年3月末完了)。
- 富岡漁港**
防波堤や岸壁などの漁港施設について全て復旧が完了しました。また、漁港背後の海岸(仏浜地区海岸)堤防についても高上げの改修が完了しました(平成31年3月末完了)。

具体的な避難方法

- 津波からの避難にあたっては、国道6号より内陸の緊急避難場所を目指しましょう。
- 津波避難では、建物上階への「垂直避難」は、あくまでも避難が遅れた緊急時・切迫時の次善の策です。できるだけ内陸の緊急避難場所を目指しましょう。



測量法に基づく国土地理院長承認(複製) R 1JHf 1337 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。